



「英語で専門分野(電気工学分野)を学ぶ」というめったにない経験ができるプログラム。現地学生のレベルの高さに驚きました。

工学部 情報工学科 1年 續 航希

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： ベトナム・HUST

ハノイのプログラムについては、もともと留学に行こうと思っていたところに、「英語で専門分野(電気工学の分野)を学ぶ」という通常の語学研修とは一見変わったコンセプトのプログラムを見つけ参加を決めました。費用が安かった点も参加理由のひとつです。また、ベトナムは日本との交流も増えてきているため、今後はさらに多くの日本企業が進出すると考え、その現状を見たいという理由もありました。

プログラム中は、平日は、午前と午後にそれぞれ3時間ずつの授業があり、土日は異文化交流や観光を行いました。平日の授業は計6時間と長いように見えますが、単調な授業をしているだけでなく、クイズやハングマンや伝言ゲームのような内容もあり飽きずに受講できました。授業内容は、高校の物理や化学で学んだことがあるような内容もあり、日本語であれば既に知っている内容もありましたが、それを英語で学ぶということが新鮮で、集中して授業に取り組みました。そして授業後は、たまに現地学生が食事やボードゲームなどに誘ってくれました。土日の異文化交流は、ベトナム、ミャンマーの生徒たちとゲームをしたり、文化紹介をしたりしました。

このプログラムに参加して思ったことは、現地の学生のレベルの高さです。授業においても、日本人学生はほとんど発表しない、というかできない感じだったけれど、現地学生は積極的に発言をしているのが大きな違いだと感じました。正直なところ、学生たちの英語は訛りがあり、何言ってるかよくわからないところもあったけれど、まったく発言できない自分たちとは、明らかに差があると感じました。やはり日本人に必要なのは、英語を使ってみる勇気だと思いました。私は、周りが使わないから、自分だけやろうとすると浮く気がしてうまく言えなかったところがあるから、その殻を突き破る勇気がそれぞれに必要なのかと思いました。

あと、最後にお土産を買うときはナイトマーケットで購入することをお勧めします。



言語の壁を越え、人の輪を広げよう！

工学部 通信工学科 1年 三浦早桜さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： ベトナム HUST

中高時代に英語留学の経験があったため通常の語学研修には行くつもりはありませんでしたが、まだ1年生ということもありグローバルPBLに参加する勇気もありませんでした。ちょうどそんな時、ハノイ理工大学(HUST)の募集がありました。HUST英語研修は、通常の英語研修ではなく「電気工学の分野を英語で学ぶ」という趣旨のプログラムだったため、単なる英会話にとどまらず自分の専門に関わる分野の英語を学べると考え、参加を決めました。2週間アジアプログラムということで、比較的安価に参加できるというのも魅力的でした。

授業は一年生だった私にとって少しハイレベルで、グループワークでも伝えたいことがうまく伝えられないなど、はじめは戸惑いのほうが大きかったです。同じ教室で学んだHUSTの学生は毎日学校では英語で授業を受けているということもあり、私たちに対して、分かりやすい言い回しをする、私たちが言いたいことを少しでもくみ取ろうとしてくれるなど、さまざまな工夫をしてくれました。彼らの助けもあり、HUSTでの生活はとても充実していました。放課後もHUSTの学生たちと遊びに行ったり、夕食を食べたりと楽しい時間を過ごすことができました。町中に出ることで話題も増え、言語の壁を乗り越えるのはとても簡単なことでした。

現地の学生と話すことで、語学力の向上だけでなく、グループワークの利点や進め方、リーダーシップの取り方なども学ぶことができました。これらは学校生活はもちろん、放課後や休日を彼らと過ごしたことで得られたものでもあります。今でも彼らとはよく連絡を取り合い、彼らが芝浦に来たときは日本を案内し、私が旅行でベトナムに行く際にはガイドをしてもらおう仲です。何名か日本に就職予定の人もあります。英語力を上げたい人はもちろん、グローバル化に興味がある人、人の輪を広げたいと思っている人におすすめのプログラムです。

2017年度参加